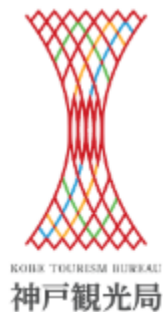


神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年6月号)

2023年6月27日



1. 今月のトピックス	
今月のトピックス	P.3~4
今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング	P.5~7
2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～	
・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県）[推計値]	P.9~10
・ホテル平均稼働率	P.11
3. インバウンドに関する情報	
・2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況	P.13~14
・主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～中国～	P.15
4. 交通機関に関する情報	
・関西国際空港・神戸空港の利用状況	P.17
・関空国際線就航状況・入国状況	P.18
・クルーズ船寄港状況	P.19
5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～	
・神戸観光局SNS動向〔Instagram〕	P.21
・市内観光案内所 観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況	P.22~24
・主要市内観光施設来場者数	P.25
・所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館）	P.26
・神戸市内大型施設の主な催事情報（7~8月）	P.27
● 参考資料集	P.28~

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス

観光庁『新時代のインバウンド拡大アクションプラン』決定

<観光立国推進基本計画（第4次）の目標>

①訪日外国人旅行消費額：早期5兆円達成／②訪日外国人旅行者数：2025年までに3200万人（2019年水準）超え

👉これまでの「外国人観光客」を呼び込む観点中心の施策から、更に視野を広げて、インバウンド需要をより大きく効果的・持続的に根付かせる必要がある。

○これまでの「観光」にとどまらず、「ビジネス」、「教育・研究」、「文化芸術・スポーツ・自然」の3分野における、国際的な人的交流を伴う取り組みを掘り起こし、深めることで、日本を舞台にした人的交流を回復させ、更なる価値を創造・発信

観光需要を効果的・持続的に根付かせ、インバウンドの着実な拡大を図る。

ビジネス

<目標>

- ビジネス目的での訪日外国人旅行消費額を2割増加（7,200億円（R1）⇒8,600億円（R7））
- 国際会議の開催件数（※教育・研究分野等で行われるものを含む）
・アジアNo.1の開催国として不動の地位
世界5位以内（R12）
- 展示会・見本市への外国人参加者数を2割増加（139千人（R1）⇒167千人（R7））

<施策・取組>※抜粋

- 国際会議、国際見本市等の積極的な開催・誘致
・万博開催の機会を捉えた国際会議等の誘致・開催
- ・MICE開催地におけるサステナビリティへの取組促進
- ・政府一体となったMICE誘致・開催
- ・地域文化資源のMICEへの活用推進

教育・研究

<目標>

- 海外からの研究者の受入れ数を2割増加（13千人（R1）⇒16千人（R7））
- 科学技術・自然・医療・社会分野等に係る国際会議への外国人参加者数を2割増加（155千人（R1）⇒186千人（R7））

<施策・取組>※抜粋

- 国際学会の積極的な開催・誘致
・国際学会等の開催・誘致に向けた支援
・学会等国際会議の主催者等への助成、政府一体となった誘致・開催支援
- 世界トップレベルの研究人材の交流促進
- 留学生の積極的な受入れ

文化芸術・スポーツ・自然

<目標>

- 世界のアート市場における我が国の売上額シェアを7位に引き上げ（ランク外（R1）⇒7位（R7））
- スポーツ目的の訪日外国人旅行者数を2割増加（229万人（R1）⇒270万人（R7））

<施策・取組>※抜粋

- 海外向けのコンテンツビジネスの育成・発展
- スポーツコンテンツビジネスの国際展開・スポーツツーリズムの推進
- ナイトタイム等におけるコンテンツの充実
・美術館・博物館の夜間開館等をはじめとした文化資源の活用
- 国際会議・国際見本市等の積極的な誘致
- 少数限定の宿泊体験・体験型コンテンツの提供
・富裕層を対象とした限定的な体験の提供
・ガストロノミーツーリズムの推進

👉詳しくは、観光庁ホームページをご確認ください。

『新時代のインバウンド拡大アクションプラン』の決定について | 2023年 | 報道発表 | 報道・会見 | 観光庁 (mlit.go.jp)

観光庁『新時代のインバウンド拡大アクションプラン』決定

出典：観光庁報道資料「『新時代のインバウンド拡大アクションプラン』の決定について」より

I. ビジネス分野(40施策)

モノの流れだけでなくヒトの動きを促すことに注力し、**日本を舞台とするビジネス交流の拡大**を図りながら、**国際的なビジネスネットワークの結節点**として新たな価値の創造・発信と世界経済におけるプレゼンス向上を図る。

1. 投資拡大の機会を捉えたビジネス交流の促進
 - ・ビジネス交流拡大にも資する国内投資の拡大や開発拠点の整備[1]
 - ・海外企業経営者層等の招へい・ビジネスマッチング拡大、国内外のスタートアップ・エコシステムのネットワーク強化等 [1]-[4]
2. 国際金融センターの我が国における拠点化
3. 外国人に対する粒子線治療等の医療の提供
4. ビジネスマッチング等を通じた海外企業関係者等との交流拡大
 - ・世界的なVC等の招へいイベント開催[7]
5. 国際会議、国際見本市等の積極的な開催・誘致
 - ・ジャパンモビリティショーや東京クリエイティブサロン等のグローバル化促進によるビジネス交流の拡大[15]
 - ・外資系企業や日本の大手企業等、グローバルに事業展開を行う企業会議の日本開催の促進 [16]
6. 産業資源の活用による新たなビジネス交流需要の獲得
 - ・地域に眠るデザイン資源や、企業の倉庫に眠るアート等を発掘・可視化等を行い、ビジネスインバウンド客向けの延泊・地方送客のための新市場を創出[31]
7. 人的交流の促進
 - ・国際的なリモートワーカー（デジタルノマド）呼び込みのためのビザ・在留資格などについて本年度中の制度化[36]
 - ・訪日プロモーションにおけるJNTO海外事務所と在外公館の連携強化[40]

- ✓ ビジネス目的での訪日外国人旅行消費額を2割増加 (7,200億円 (R1) ⇒ 8,600億円 (R7))
- ✓ 国際会議の開催件数(※教育・研究分野等で行われるものを含む)・アジアNo.1の開催国として不動の地位、世界5位以内 (R12)
- ✓ 展示会・見本市への外国人参加者数を2割増加 (139千人 (R1) ⇒ 167千人 (R7))

II. 教育・研究分野(13施策)

大学等の研究力の強化、海外の研究拠点の呼び込み、国際学会の積極的な開催・誘致を図り、日本の大学や研究機関のレベルアップと**国際頭脳循環の推進**を図る。留学生の受入れ促進や教育の国際化により、**教育分野の人的交流を促進**する。

1. グローバル・スタートアップ・キャンパス構想の推進
 - ・海外トップ大学等とも連携した、研究機能とインキュベーション機能を兼ね備えたグローバル拠点の創設[41]
2. 世界トップレベルの研究人材の交流促進
 - ・10兆円規模の大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援や、地域の中核大学・特定分野の強みを持つ大学の強化による、研究環境の整備[42][43]
 - ・世界トップレベルの研究水準を誇る国際研究拠点の形成、国際共同研究に対する戦略的・機動的な支援による、国際頭脳循環の推進[44][46]
3. 留学生等の積極的な受入れ
 - ・各国の学生の留学を巡る諸情報の収集・分析、リクルーティングや広報の強化、高校生の国際交流の促進、大学の国際化の推進等により、2033年までに外国人留学生受入数40万人を実現 [47]-[49]
4. 国際学会の積極的な開催・誘致
 - ・国際卓越研究大学における国際学会開催数等の評価、海外のトップ研究者との国際共同研究の支援[50]
 - ・国際学会等の開催に向けた支援、関係省庁間の連携[51]
 - ・重要な学会等国際会議の主催者等への助成[53]

- ✓ 海外からの研究者の受入れ数を2割増加 (13千人 (R1) ⇒ 16千人 (R7))
- ✓ 科学技術・自然・医療・社会分野等に係る国際会議への外国人参加者数を2割増加 (155千人 (R1) ⇒ 186千人 (R7))

III. 文化芸術・スポーツ・自然分野(25施策)

文化芸術の国際発信強化とグローバル展開をビジネスの観点を取り入れつつ戦略的に進めるとともに、**スポーツ産業の拡大**に向けてビジネスの視点での施策を展開するほか、**自然体験を楽しむ**特色ある取組を全国各地で創出する。

1. 海外向けコンテンツビジネスの育成・発展
 - ・個別の作品を超えて作家ごとの海外展開等を行う仲介者への支援や翻訳家の育成等によるコンテンツの海外展開支援[54]
 - ・官民連携によるトップアーティストの発掘、グローバルレベルでのキャリアを積む場への参加等の育成支援[56]
 - ・メディア芸術分野振興の中核となる国際拠点整備[57]
 - ・先進的なデジタル技術を活用したコンテンツ創出支援等による映像コンテンツ産業の海外展開推進・デジタル化[61]
 - ・海外に開かれた文化芸術拠点となる国際的なアートフェアの誘致等の拡大[62]
2. スポーツコンテンツビジネスの国際展開・スポーツツーリズムの推進
 - ・バーチャル空間等の先端技術の活用によるスポーツ環境の向上、スポーツと他産業との連携による事業創出の推進[67]
 - ・プロスポーツ団体によるスポーツイベントを活用した観戦ツアー・競技体験・交流会等の特別なコンテンツの提供等[68]
 - ・海外の道場と繋ぐオンライン稽古やミニ武道体験等、武道等に着目したスポーツツーリズムを契機とした地方誘客の促進[69]
3. ナイトタイム等におけるコンテンツの充実
 - ・美術館・博物館の早朝・夜間開館をはじめとした文化資源の活用、特別な体験の提供[71]
4. 国際会議・国際見本市等の積極的な開催・誘致
 - ・世界遺産をはじめとする文化財の抜本的活用の促進[73]
5. 少数限定の宿泊体験・体験型コンテンツの提供
 - ・民間提案による国立公園利用の魅力向上に向けた複数国立公園における具体的事業構想の検討、先端モデル地域の決定[76]

- ✓ 世界的アート市場における我が国の売上額シェアを7位に引き上げ (ランク外 (R1) ⇒ 7位 (R7))
- ✓ スポーツ目的の訪日外国人旅行者数を2割増加 (229万人 (R1) ⇒ 270万人 (R7))

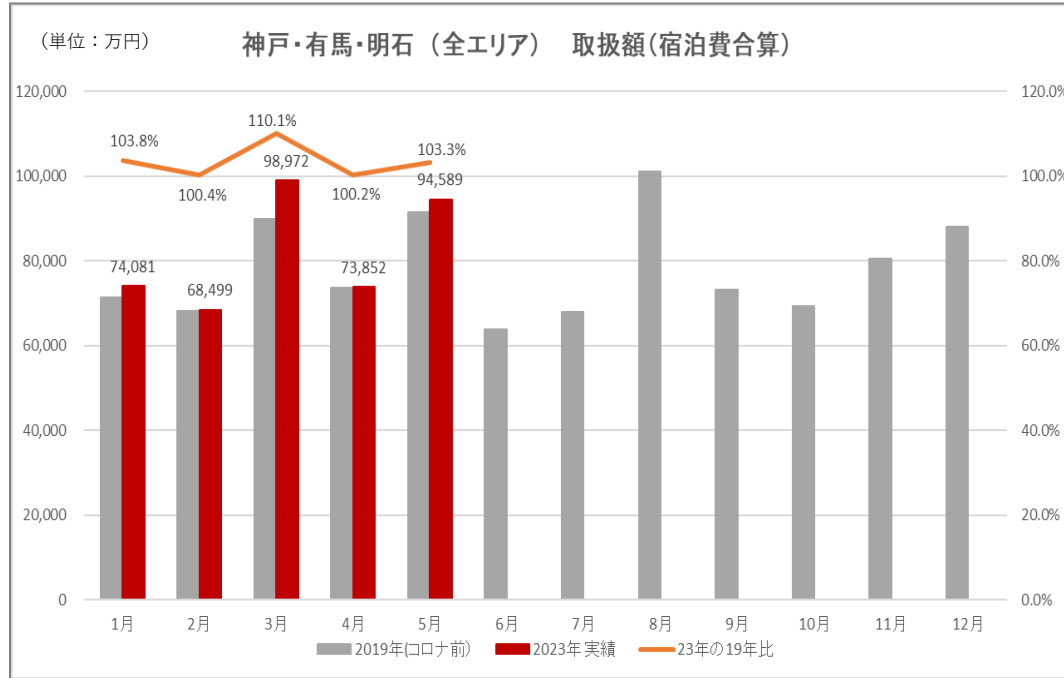
本アクションプランのフォローアップを行い、進捗の点検と取組の一層の充実・強化を図る

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

■ 直近のOTA予約状況について

- 5月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比：103.3%、人泊数：94.5%、単価：109.3%。
- 人泊数は2019年に及んでいないが、前月に引き続き市街地・有馬ともに単価が上昇傾向であることから、取扱額は2019年と同水準となった。
- 有馬では、人泊数がコロナ前比に回復してきたこと、単価が引き続き高止まりしていることから、取扱額が好調な伸びを見せた。
- 市街地においても人泊数・単価ともに堅調に推移している。

【実績】



【実績】 2019年度比

	3月	4月	5月
全市			
取扱額	110.1% (74.7%)	100.2% (80.2%)	103.3% (96.5%)
人泊数	103.5% (83.0%)	93.1% (86.4%)	94.5% (98.5%)
市街地			
取扱額	115.8% (71.5%)	109.7% (84.5%)	102.4% (92.0%)
人泊数	109.4% (90.2%)	100.8% (96.8%)	97.8% (101.8%)
有馬			
取扱額	102.2% (80.3%)	89.3% (80.2%)	106.2% (107.9%)
人泊数	95.8% (79.6%)	79.6% (78.3%)	96.1% (102.8%)

黒太字は
 2023年-2019年比 （ ）内は同時点の2022年-2019年比

【このデータの特徴】現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

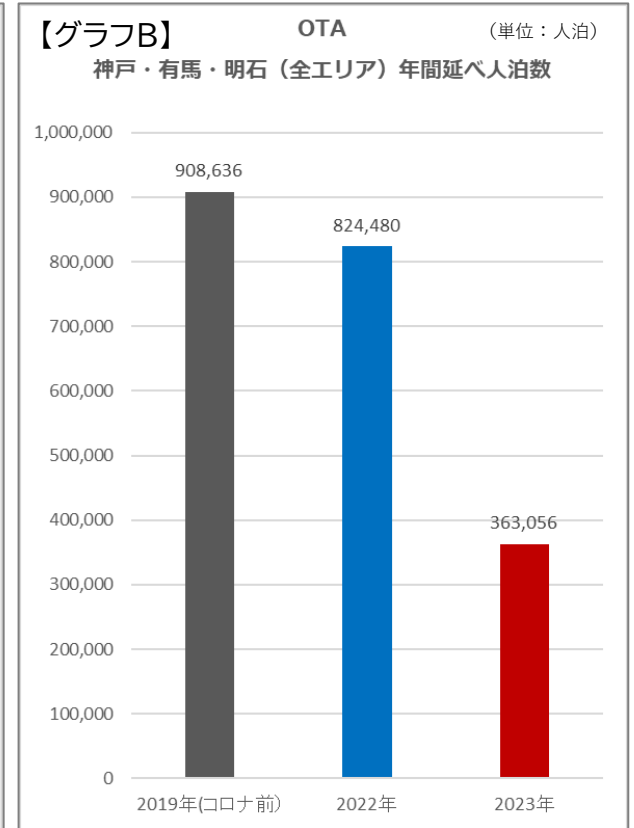
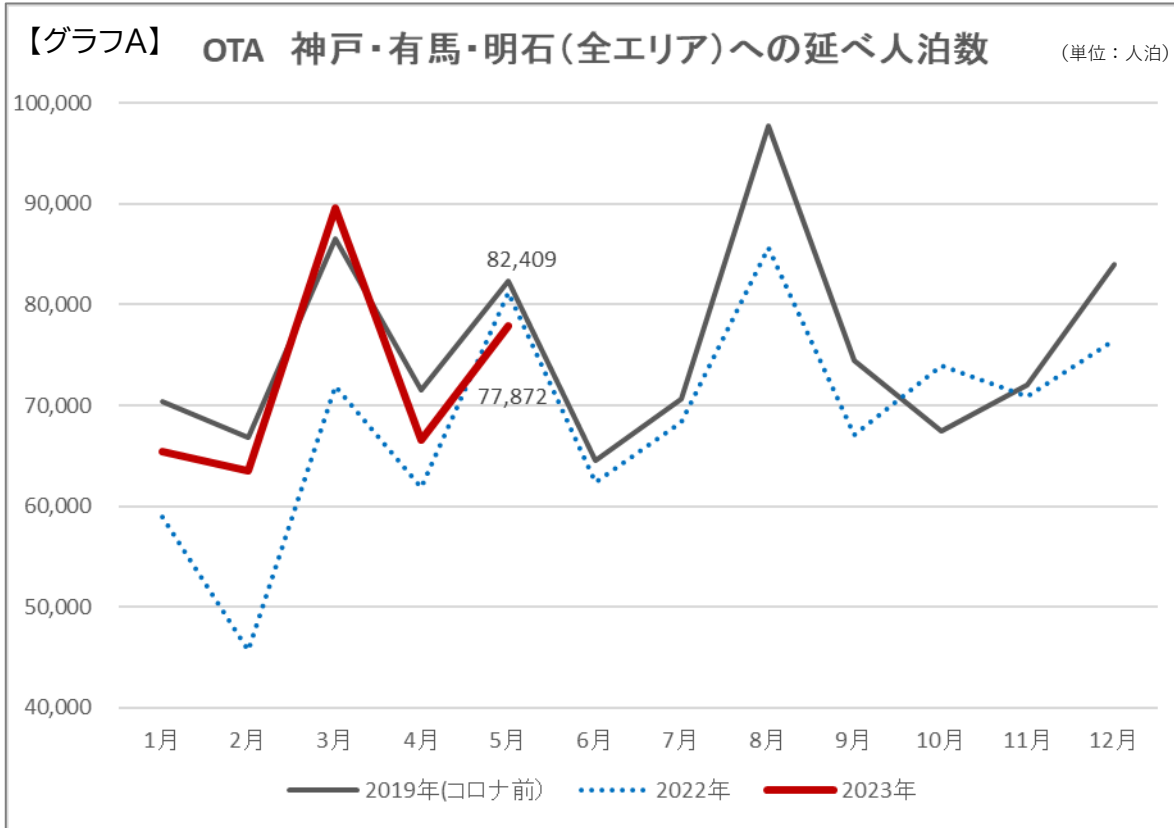
一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【DATAに関する基本情報】

- ・某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）



【考察① グラフ〔A〕 2023年度の出だし好調】

- ・2023年 1-5月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移しており、好調。3月以外は2019年比▲5%～▲7%で推移。（3月は好調で2019年比+3.5%であった。）
- ・5月単月では、全国旅行支援も終了したことから落ち着きを見せ、2019年5月（8万2409人泊）の94.5%にあたる7万7872人泊となった。
- ・インバウンドが回復傾向であることから、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない。

【考察② グラフ〔B〕 2022-2019 年間延べ人泊数の比較】

- ・2022年の神戸市内全域（145施設）への延べ宿泊者数の実績は、82万4480人泊。
- ・2019年（コロナ前・90万8636人泊）の90.7%まで回復。
- ・2023年 5月までは、36万3056人泊で、前年比44%（2019年比40%）に当たる。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【予約】

【神戸市】

2019年比
〔取扱額〕

	6月	7月	8月	9月
全市				
6.11時点	113.4% (116.8%)	137.5% (138.4%)	128.3% (160.9%)	107.0% (157.8%)
5.21時点	120.1% (153.1%)	138.1% (161.9%)	127.9% (191.6%)	—
市街地				
6.11時点	113.7% (118.7%)	124.4% (142.3%)	124.0% (178.7%)	113.5% (186.4%)
5.21時点	117.3% (155.5%)	126.6% (164.6%)	120.0% (205.7%)	—
有馬				
6.11時点	103.8% (109.9%)	143.5% (121.9%)	115.7% (121.9%)	102.1% (117.6%)
5.21時点	114.5% (141.4%)	144.8% (145.0%)	118.9% (142.4%)	—

【他エリア比較】

2019年比
〔取扱額〕

	6月	7月	8月	9月
淡路島				
6.11時点	128.6% (112.9%)	174.4% (109.7%)	172.8% (127.7%)	200.2% (106.0%)
5.21時点	156.7% (119.9%)	190.6% (124.6%)	183.3% (146.1%)	—
城崎				
6.11時点	92.3% (125.9%)	121.5% (119.4%)	103.9% (115.4%)	128.3% (136.8%)
5.21時点	102.9% (153.8%)	133.8% (143.6%)	105.0% (146.0%)	—

	6月	7月	8月	9月
大阪市エリア				
6.11時点	147.5% (136.1%)	150.4% (173.5%)	142.6% (187.1%)	133.3% (244.8%)
5.21時点	164.2% (224.1%)	136.6% (239.7%)	142.3% (247.7%)	—
京都市エリア				
6.11時点	149.5% (148.4%)	139.4% (164.0%)	118.8% (181.0%)	105.1% (179.0%)
5.21時点	159.7% (237.6%)	133.1% (194.8%)	123.8% (227.1%)	—
東京23区エリア				
6.11時点	133.5% (181.5%)	134.1% (218.3%)	128.4% (225.5%)	107.3% (289.8%)
5.21時点	143.2% (278.0%)	132.2% (280.8%)	127.1% (274.4%)	—

■9月まではコロナ前を上回る水準まで予約が入っている状況。
⇒夏休みシーズンの7月は、GWに予約が大きく動き、有馬・市街地ともにコロナ前を大きく上回る水準となった。表にはないが、有馬は夏休みシーズンが終わった9月以降も予約が好調に伸びているが、市街地は10月以降についての伸びが緩やかと聞いている。

■神戸以外のエリアについては、9月以降も好調に推移している。

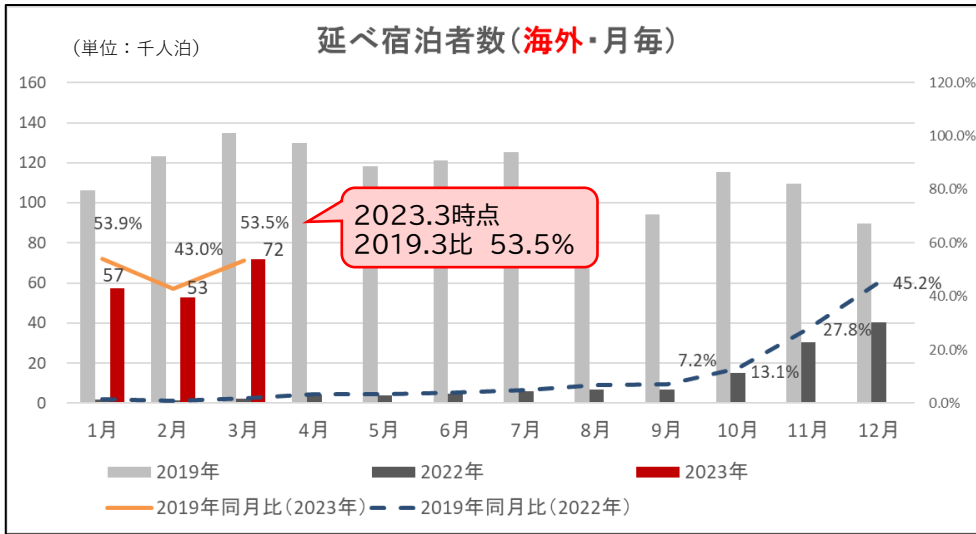
黒太字は
2023-2019年比 ()内は同時点の2023-2022年比

定点観測

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド比較】 ※R5.3まで

【兵庫県】



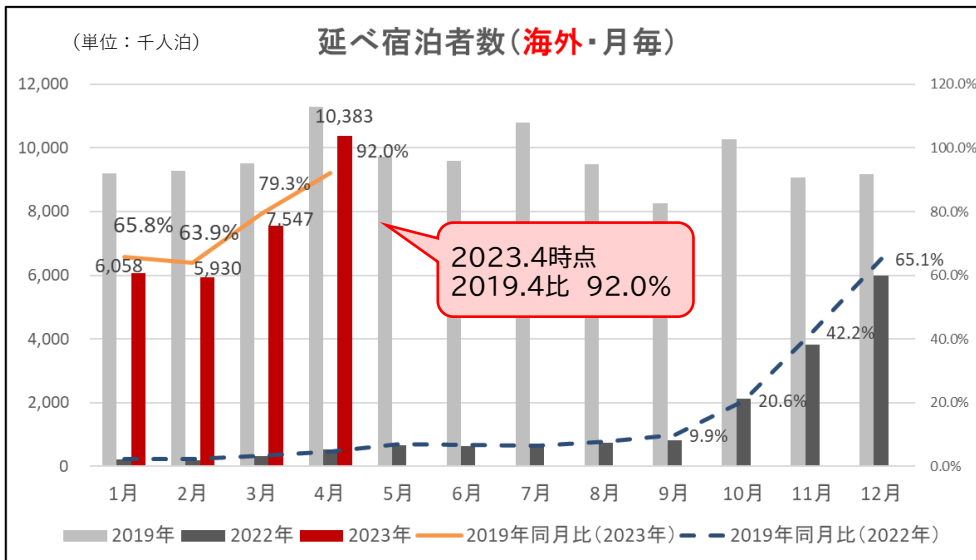
傾向

兵庫県	コロナ前比 約5割 (3月)
全国	コロナ前比 約8割 (3月) ⇒ 約9割 (4月)

全国の動きと比較して、
兵庫県には、まだインバウンドが戻り切っていない。

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

【全国】 ※R5.4推計値まで



出典:【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

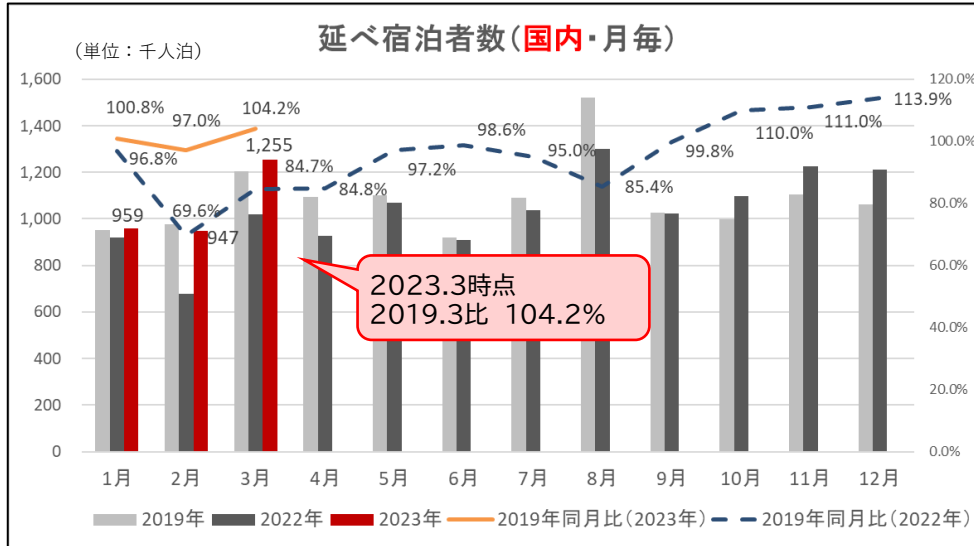
- ・令和5年3月 第2次速報値
- ・令和5年4月 第1次速報値

👉【全国】外国人延べ宿泊者数
国籍別は[31ページ](#)、都道府県別は[32ページ](#)へ

※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元
(観光予報プラットフォーム推進協議会
「観光予報プラットフォーム」)
の数値が安定していないため、掲載保留中

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.3まで

【兵庫県】



傾向

兵庫県
・全国

コロナ前比と同水準に回復

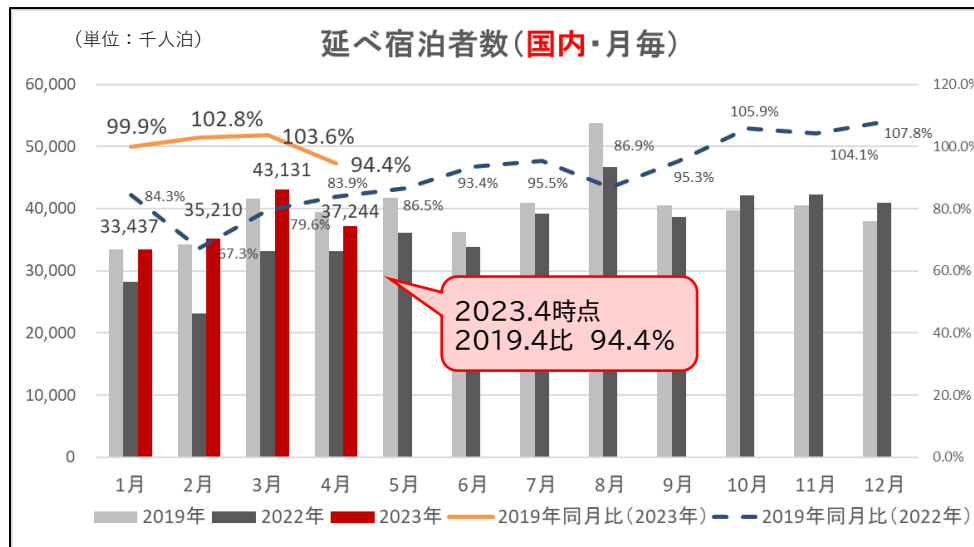
※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典:【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年3月 第2次速報値
- ・令和5年4月 第1次速報値

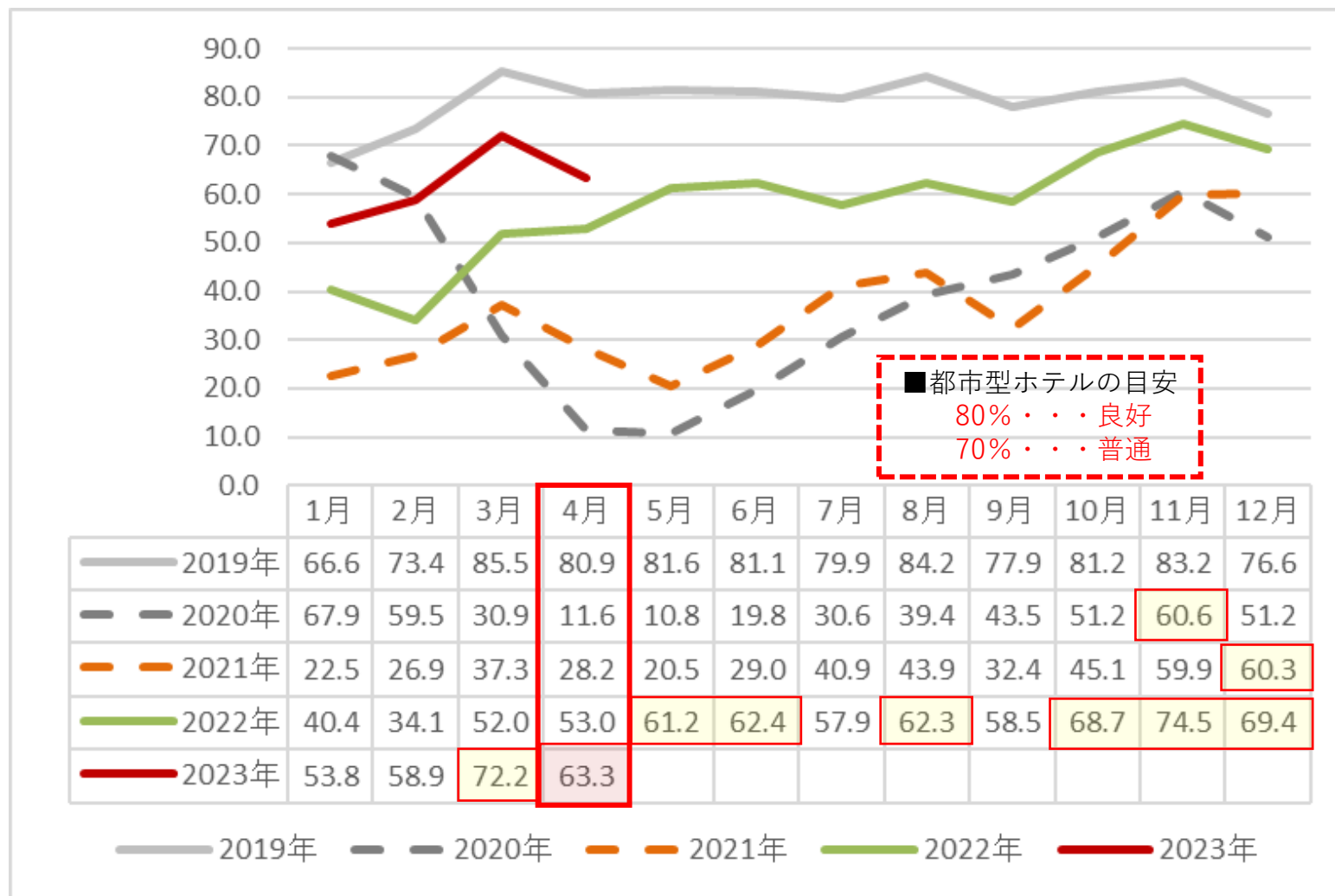
【全国】

※R5.4推計値まで



※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元
(観光予報プラットフォーム推進協議会
「観光予報プラットフォーム」)
の数値が安定していないため、掲載保留中

市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
 4月 国内ホテル稼働率
 全国：73.2%
 （前月比 ▲4.4pt）

4月のホテルの全国平均稼働率は73.2%。前月比4.3ポイント減少で、前月を下回るのは3カ月ぶり。4月は春休みと大型連休の合間で国内の宿泊客数が伸びにくい傾向がある。政府の観光支援策「全国旅行支援」の一時停止期間にさしかかり、伸び悩んだようだ。

インバウンド情報

(訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

2023年月別訪日外客数(対2019年比)



訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
3月	2,760,136名	1,817,500名	▲34.2%
4月	2,926,685名	1,949,100名	▲33.4%
5月	2,773,091名	1,898,900名	▲31.5%

- ・ 訪日外客数は桜シーズン後の閑散期にあたるものの、2019年からの回復率は前月を更新し、2019年比：68.5%（約190万人）を記録。着実な回復を見せた。
- ・ 韓国、台湾が牽引しているものの、アメリカ、中国からの外客数が急速に増加傾向にある。
- ・ 一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが今後の課題になることが予見される。

2022.6.10～ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7～ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11～ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29～ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めていたワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2023	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	1,497,472 (1,308,606)	-44.3 (-44.2)
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	1,475,455 (1,297,458)	-43.3 (-44.6)
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	1,817,616 (1,582,518)	-34.1 (-34.4)
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)	* 1,949,100	* -33.4
5 May	2,773,091 (2,455,865)	* 1,898,900	* -31.5
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)		
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)		
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)		
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)		
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)		
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)		
1～5 Jan.-May.	13,753,573 (12,194,592)	* 8,638,500	* -37.2
1～12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)		

訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

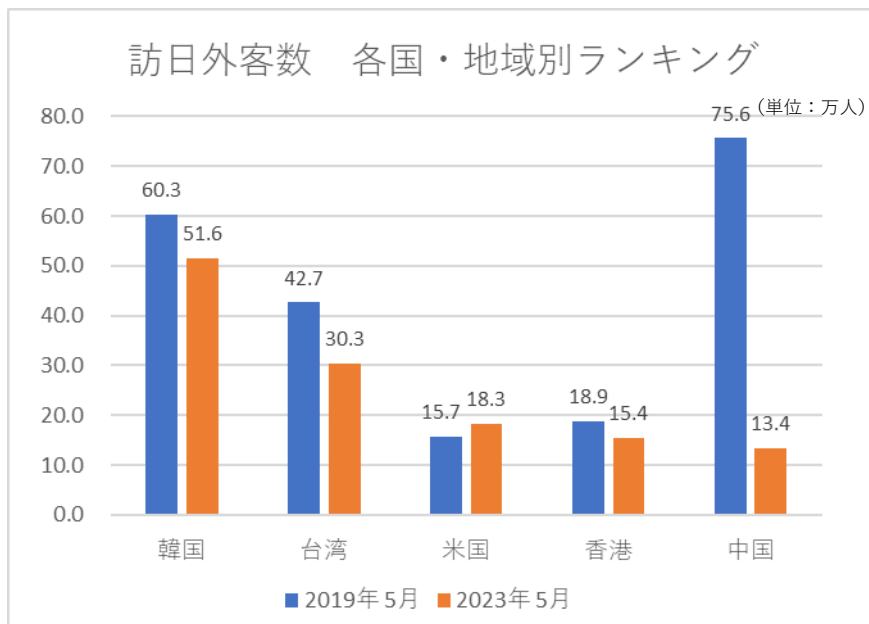
2023年5月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 5月	2023年 5月	(順位)	伸率 (%)	2019年 1月~5月	2023年 1月~5月	(順位)	伸率 (%)
韓国	603,394人	515,700人	(1位)	▲ 14.5	3,250,791人	2,583,400人	(1位)	▲ 20.5
台湾	426,537人	303,300人	(2位)	▲ 28.9	2,019,764人	1,381,600人	(2位)	▲ 31.6
米国	156,962人	183,400人	(3位)	16.8	699,633人	745,400人	(3位)	6.5
香港	189,007人	154,400人	(4位)	▲ 18.3	888,859人	723,400人	(4位)	▲ 18.6
中国※	756,365人	134,400人	(5位)	▲ 82.2	3,651,814人	386,100人	(6位)	▲ 89.4

※2019年5月 1位



・アメリカが好調な伸び
4月+8%⇒5月16.8%
(2019比)
・遂に中国が5位に浮上



5月動向

- 5月の訪日外客数は、3月と4月の桜シーズン後の閑散期にあたるものの、回復率では前月を上回り、2019年同月比68.5%の1,898,900人となった。
- 東アジア地域において韓国等からの訪日外客数が増加したこと、また、東南アジア・欧米豪地域では、シンガポールや米国などの複数の市場において2019年同月比を超える回復を見せたことが今月の押し上げ要因となった。なお、国際線定期便に関しては、コロナ禍前の約6割まで運航便数が回復している。
- 新たな観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）等を踏まえ、観光立国の復活に向けて、観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進していく必要がある。国内関係者が連携し、海外旅行会社等へのセールス強化や情報発信を通じた高付加価値旅行、アドベンチャートラベルの推進、MICE誘致等の取組を強化していくことが求められる。

📄 訪日外客数の各国・地域別の内訳（詳細）は[29ページ](#)へ



- ・人口・・・14億4千万人(2020年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：1万米ドル → 2021：1万2千米ドル ※GDPの伸びは緩やかも
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル) 高額資産保有者数は1.5倍に
- ★国際旅行支出・・・2017：257億米ドル → 2018：277億米ドル → 2019：254億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：735万人 → 2018：838万人 → 2019：959万人
- ・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性=40:60 / ボリュームゾーン 10～30代(50%)
2021 男性：女性=48:52 / // 10～30代
- ・情報収集媒体・・・① [Ctrip](#)(42.0%) *旅行情報サイト ② 抖音*中国版TikTok(26.4%) ③ WeChat(25.0%)



<中国主要SNSの現在地>



【WeChat】中国13億人が利用するWeChatは、もともとはLINEのように、チャットがベースだったが、今では、WeChat Payのような決済や、ダウンロード不要のアプリ内アプリを利用することができる。WeChat公式アカウントの使い方は、LINE同様にクローズドな空間であることは変わらないので、基本的には会員向けサービスのよう性質が強い。そのため、実店舗でのQRコード掲示や、SNS広告、インフルエンサー施策、抽選キャンペーン等のパブリックトラフィックからユーザーを獲得できる手段を組み込むことが重要となる。

【Weibo】中国を代表するSNSであり、2009年から続くSNSサービス。日本人に馴染みの深いTwitterに似た仕様のため、「使い方」としてもイメージしやすい。Twitterにおける「リツイート」や「フォロー」を促すような抽選投稿等が効果的。

【RED】中国の若者の「ライフスタイルを共有する次世代SNSプラットフォーム」であり、ユーザーは3億人、月間アクティブユーザー数は1億人。2021年には18～24歳ユーザーが全体の46%を占め、現在も若者比率が拡大しており、異例の成長を遂げている。仕様としては、中国版インスタグラムと呼ばれているように、写真・動画が主体。そのため、ユーザーのタイムラインに流れる画像（1枚目の写真や動画のサムネイル）のインパクトやクオリティが非常に重要となる。

中国の最新情報ひとことメモ

・中国人の訪日旅行のリアル

日本行きのビザが制度的におりるようになったので、日本旅行への期待はかなり高まっているものの、飛行機チケットが最近までかなり高騰していたこと、ビザの順番待ちが多いことから、観光目的の渡航は様子見の方が多い。

※ただし、中国からの海外旅行の回復率は33%(2023年3月時点)と急回復している。

今回の中国のGWにあたる労働節の連休は、ビザが間に合わないため、行く人はそれほど多くなかった。

現在の訪日のメインは、「ビジネス」、「親族探訪」である。

中国サイドから見た訪日旅行の問題点・・・日本の空港での入国審査の大行列、ホテル価格の高騰など

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

関西国際	2023年 2月	3月	4月
総旅客数(人)	1,456,834	1,756,841	1,651,773
2019年比	▲42%	▲39%	▲40%
国際線 発着数(回)	6,197	7,496	8,227
2019年比	▲48%	▲44%	▲38%
国際線 旅客数(人)	904,602	1,058,670	1,127,115
2019年比	▲54%	▲53%	▲48%
うち外国人 旅客数(人)	736,776	808,116	960,417
2019年比	▲46%	▲43%	▲39%
国内線 旅客数(人)	552,232	698,171	524,658
2019年比	+5%	+9%	▲8%

神戸	2023年 2月	3月	4月
国内線 発着数(回)	2,755	3,014	2,788
2019年比	+25%	+21%	+13%
国内線 旅客数(人)	263,184	316,365	262,558
2019年比	+7%	+10%	+4%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・4月の関西国際空港の状況は、3月期に引き続き国際線の発着回数が回復傾向。各国の水際対策緩和の影響により、コロナ前(2019年比)の62%まで回復。
- ・外国人旅客数は、4月も順調に増加し、96万人を突破。コロナ前と比較しても60%以上回復してきている。
- ・2023年年明け以降、各航空会社から日本発着需要の回復を踏まえた国際線の増便が発表されており、今後の更なる回復が期待される。
- ・神戸空港については、1月以降、コロナ前を上回る回復を見せている。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は[35ページ](#)、
2023年4月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は[36ページ](#)へ

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。



関空国際線就航状況・入国状況 ～KTBターゲット11か国～ 6月20日時点

国際線就航 状況 (便数)	2020年 1月	2022年 12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	3	3	3	3	3	5	5
豪州	12	2	3	4	4	4	5	5
米国	78	—	—	—	—	11	11	11
中国	630	8	8	8	8	98	125	161
台湾	169	63	73	75	91	101	101	101
香港・マカオ	117	46	59	66	69	69	118	82
韓国	244	167	196	238	239	265	282	246
タイ	47	12	18	18	21	31	36	36
マレーシア	14	5	5	15	15	15	15	18
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0

※1週間に就航している便数

米国（ロス・サンフランシスコ）追加

中国便増加傾向（前月比129%）

入国状況 (人数)	2020年 1月	2022年 12月	2023年 1月	2月	3月
英国	3,526	2,001	1,879	1,749	3,931
フランス	2,271	1,434	1,324	1,808	3,644
豪州	11,956	5,993	6,964	3,822	6,385
米国	12,756	7,466	7,100	6,087	17,020
中国	328,191	6,669	7,109	8,540	18,157
台湾	102,205	42,599	60,196	59,164	69,566
香港	51,421	45,600	49,918	37,665	48,240
韓国	85,174	144,508	175,758	176,963	149,823
タイ	22,458	12,434	10,839	12,857	20,748
マレーシア	11,684	6,915	7,085	9,408	11,950
インドネシア	8,866	7,243	5,283	5,760	6,179

3月の入国状況は全体的に回復している中、特に中国と欧米豪が増加している。

5月速報値の関空入国者数合計は、前月比106%で50万人を超える。(501,210人)

※今月より米国を追加

※2023.5月速報値
 関空入国者数：501,210人（4月：471,895人 3月：425,327人）

出典：総務省「出入国管理統計」より抜粋

【クルーズ船寄港状況】ポートターミナル・中突堤

		5月分				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	11	8	22	138%	50%
	船客数	14,627	880	38,576	1662%	38%

累計				
R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
26	119	150	22%	17%
22,939	26,683	180,727	86%	13%

ポートターミナル		5月分				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	7	8	13	88%	54%
	船客数	12,571	880	31,057	1429%	40%
日中国際フェリー (新釜真・蘇州號)	隻数	4	5	2	80%	200%
	船客数	0	0	217	-	0%
日本船 (内航)	隻数	0	3	0	0%	-
	船客数	0	880	0	0%	-
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-
	船客数	0	0	0	-	-
外国籍船	隻数	3	0	11	-	27%
	船客数	12,571	0	30,840	-	41%

累計				
R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
16	111	94	14%	17%
17,579	22,875	142,298	77%	12%
8	52	28	15%	29%
0	0	2,526	-	0%
0	53	11	0%	0%
0	18,387	7,385	0%	0%
0	2	3	0%	0%
0	20	1,262	0%	0%
8	4	52	200%	15%
17,579	4,468	131,125	393%	13%

中突堤旅客ターミナル		5月分				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	4	0	9	-	44%
	船客数	2,056	0	7,519	-	27%
日本船 (内航)	隻数	2	0	6	-	33%
	船客数	1,032	0	3,359	-	31%
日本船 (外航)	隻数	1	0	0	-	-
	船客数	640	0	0	-	-
外国籍船	隻数	1	0	3	-	33%
	船客数	384	0	4,160	-	9%

累計				
R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
10	8	56	125%	18%
5,360	3,808	38,429	141%	14%
2	3	42	67%	5%
1,032	773	29,813	134%	3%
1	0	5	-	20%
640	0	2,286	-	28%
7	5	9	140%	78%
3,688	3,035	6,330	122%	58%

■全体

5月はR4年度比で隻数+3、船客は+13,747。R1年度比で隻数▲11、船客は▲23,949。

神戸発着のクルーズを開始した「DIAMOND PRINCESS」(115,906総トン)や日本籍船のクルーズ客船の入港が相次ぎ神戸港がクルーズ客船で賑わった。

■ポートターミナル

5月の入港隻数は7。内訳は定期船の日中国際フェリーが4、外国籍船「DIAMOND PRINCESS」が3。

■中突堤

5月の入港隻数は4。内訳は外国籍船「STAR BREEZE」が1、日本籍船「飛鳥II」が1「にっぽん丸」が2。

神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～



昨年の7月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

観光スポット編

今夏トレンドの参考に!

↑ いいね数 上位ランキング

2022年7月

BEST 1



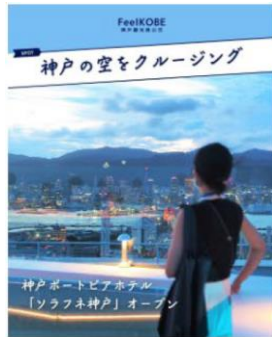
2022/7/8
いいね数 1,714

BEST 2



2022/7/7
いいね数 1,299

BEST 3



2022/7/29
いいね数 1,240

BEST 4



2022/7/2
いいね数 1,166

BEST 5



2022/7/5
いいね数 1,156

昨年7月の1位は、夏を感じられる海辺のスポット「須磨海岸」がフォロワーの内外問わず幅広く人気投稿となった。2位には、格式高い店内の様子やパフェのリアル動画をリアルに表現した投稿で、旧居留地の「カフェラ」がランクイン。3位には、ポートピアホテルに新規オープンした「ソラフネ神戸」、5位の「相楽園のライトアップ」など、夕方～夜にでかけるスポットが注目されている。4位の三国志の英雄関羽を祀る寺院「神戸関帝廟」の紹介が、古くから神戸を愛する方や、中国史に興味のある方に反響を呼んだ。



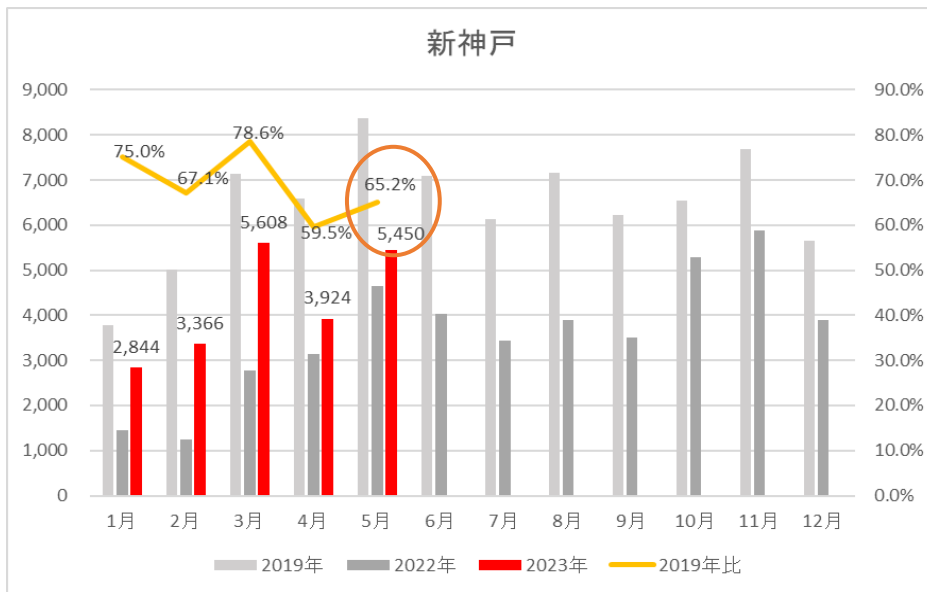
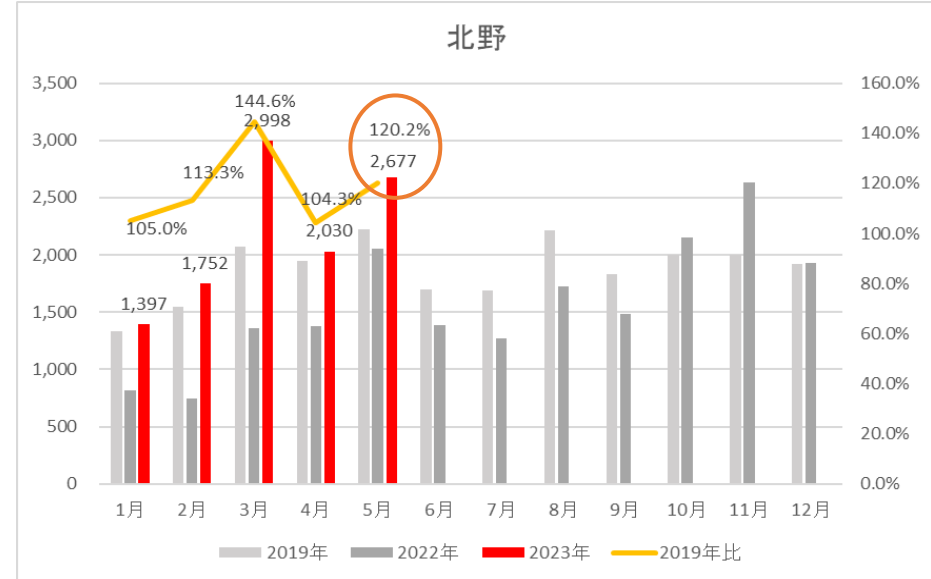
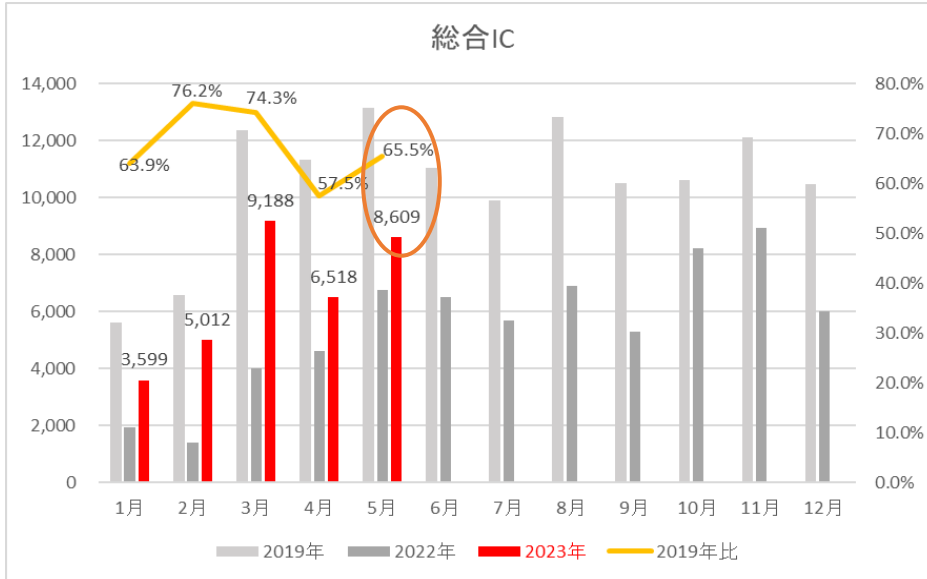
2022/7/20



2022/7/22

他、保存数の多かったスポットとしてハーバーランド「神戸煉瓦倉庫」、北野「ソラカフェ」。いずれもリアルにより、ユーザーがまるでその場にいるような没入感の強い投稿が注目されている。

市内観光案内所 観光客案内件数 (2023.5)



○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

GW期間中の5/1・2は平日のためか混雑なし。
3日が来館人数のピークで、951名に対応。

○北野観光案内所 (北野異人館街)

インフィオラータ開催に伴い各異人館にも多くの
観光客が訪れる。

○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

5/3来館者ピーク。天候の良い日は午前中に布引
の滝、ハーブ園、六甲山などへのハイキング客。

5月案内所全体件数 16,736件 ⇒ 前月比134% 2019年比70.5%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔客数状況〕 ・5月中下旬～6月中旬は平日340名ほど・休日540名ほど。
- 〔客層〕
- ・アジア系外国人の中に、**中国人の割合が増加傾向**。
 - ・クルーズ船乗客、特にMSCベリッシマ乗船の日本人。
- 〔行き先〕
- ・アジア系⇒夜景目的で摩耶山・六甲山。三田アウトレット、どうぶつ王国、北野、南京町など。
 - ・欧米人⇒六甲山や布引の滝へのハイキング。淡路島、姫路、岡山。
- 〔内容〕
- ・外国クルーズ船乗客からは、観光相談というよりもポートターミナルへの戻り方の問合せが多い。**※MSCベリッシマの乗船客は日本人高齢層中心で、ノープランでの観光相談。**
 - ・犬連れ30名の団体より、神戸観光MAPの依頼。

※最大級の国際クルーズ船

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時 (3月～10月)

9-17時 (11月～2月)

- 〔客数状況〕 ・5月中下旬～6月中旬は平日90名ほど・土日160名ほど。
- 〔客層〕
- ・年配ハイキング客、国内ファミリー層、学生グループ。北海道、関東、中部など国内各地。
 - ・アジア系中心、イギリス、ベルー、アルゼンチンからも来神。
- 〔行き先〕
- ・各異人館めぐり、ハーブ園、六甲山、酒蔵などを周遊。
- 〔内容〕
- ・広島より、サミットを避けて神戸観光に来られるケース有。
 - ・神戸ビーフを目当てにハワイ、フランスからの旅行者。
 - ・**ベリッシマの乗客が多数異人館巡りに訪れる。**

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・5月中下旬～6月中旬は平日190名ほど、土日280名ほど。
- 〔客層〕
- ・来館者は日本人と外国人が同じくらいの割合の日が目立つ。
 - ・クルーズ船乗客、MICE参加者、修学旅行生。
- 〔行き先〕
- ・天候の良い日は、布引の滝、六甲山などハイキング目的の方多数。
 - ・国内外ともに、ハーブ園、竹中大工道具館が特に人気。
- 〔内容〕
- ・神戸まつりのパレードを目当てに前泊する方が一方、開催を知らずにバスルート変更で戸惑うケースも。
 - ・悪天候でも滝に向かう外国人に増水の危険を伝えて対応。

市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.5)

国・地域		総合IC	北野	新神戸
アジア	韓国	281	101	36
	中国	181	35	43
	台湾	278	64	27
	香港	267	44	21
	タイ	129	14	52
	シンガポール	136	11	75
	マレーシア	39	6	18
	インドネシア	25	8	21
	フィリピン	81	4	40
	ベトナム	8	1	5
	インド	38	1	50
	パキスタン			
	バングラデシュ			
	その他アジア	881	5	172
中東	イスラエル		2	7
	トルコ	1		2
	イラン	2		1
	その他中東	21	1	9
ヨーロッパ	英国	33	6	48
	フランス	70	12	82
	イタリア	19	5	9
	ロシア		1	
	ギリシャ			
	アイルランド			
	その他ヨーロッパ	399	20	103
アフリカ	南アフリカ共和国			5
	エジプト			
	その他アフリカ	6		5
北アメリカ	米国	129	12	209
	カナダ	35	6	25
	メキシコ	2		37
	その他北米	2		
南アメリカ	ブラジル	3		6
	アルゼンチン		2	2
	コロンビア	2		
	その他中南米	13	1	3
オセアニア	オーストラリア	48	6	124
	ニュージーランド	8	1	7
	その他オセアニア		1	2
地域不明		4	591	
		(人) 3137	374	1837

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3137人、前月比96.5%。
コロナ禍以前2019年同月比61.6%
- ・アジア系・欧米系外国人観光客共に淡路島（ニジゲンノモリなど）の問合せ多数。神戸市内ではどうぶつ王国や六甲山・摩耶山、有馬温泉が人気。観光パスや、神戸ビーフの問合せが多い。
- ・5/8より日本入国時の水際処置が終了、中国からの個人旅行客が緩やかではあるが増加傾向（先月の2.5倍）

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者374人、前月比77.7%。
アジア系の方が外国人来所者の80%を占める。
アジア系のうち韓国約35%、次いで台湾が約20%、香港約15%、中国12%。
4月よりアジア系約100人減少
- ・ほとんどが北野ガイドマップの要望。外国人来館者が月平均500人を超えない現状。

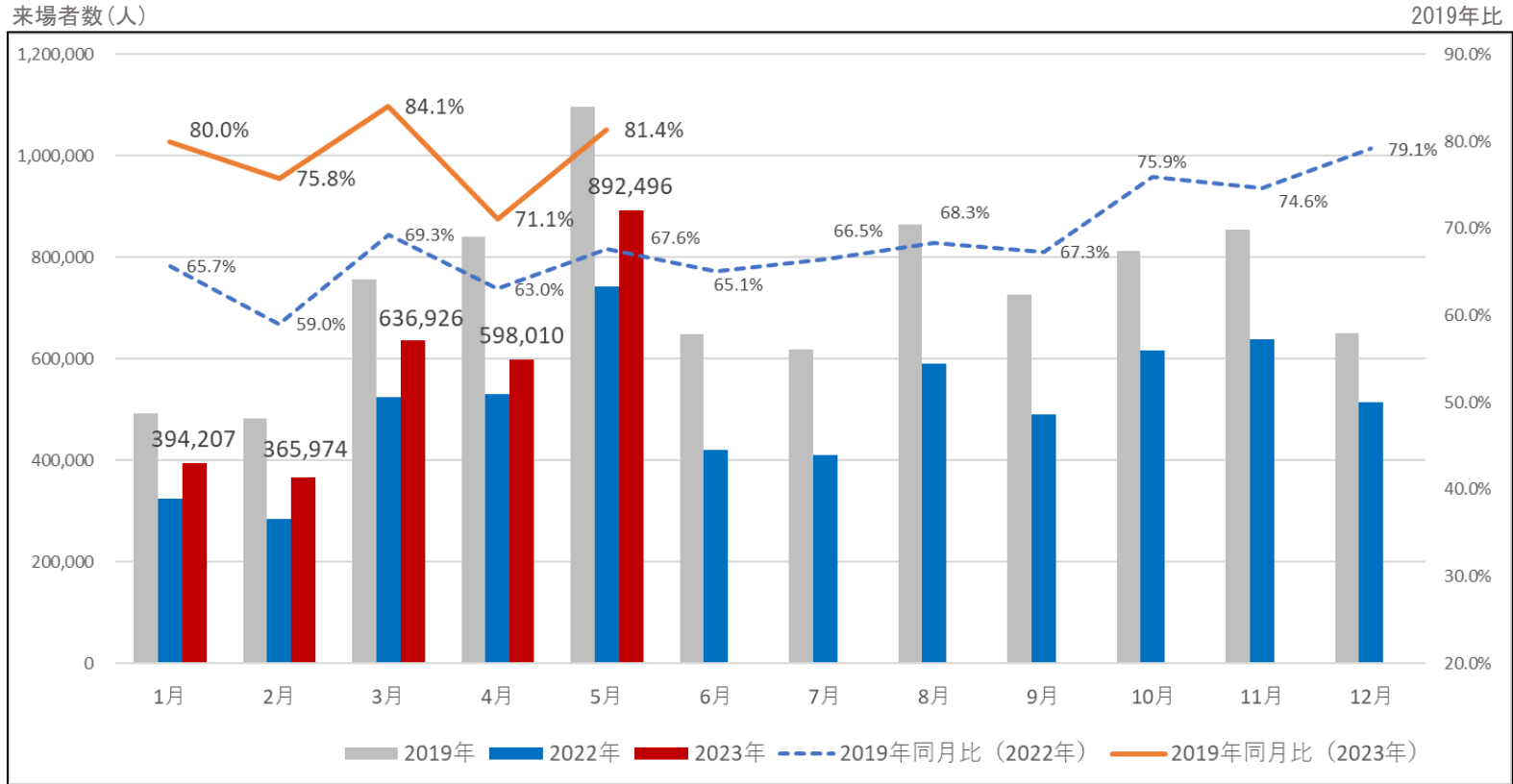
〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,837人、前月比83.3%。
アメリカ、オーストラリア、フランス、シンガポールからのお客様が多い。
増加傾向にあるのは、インドや中国など。中東よりイラクやクウェートからも来神。

5月案内所全体件数 5,348件 ⇒ 前月比90.1%
2019年比77.0%

主要市内観光施設来場者数（2023.4～5）

- ・ 4・5月の来場者数について、4月は春休みの終了による季節変動もあり前月を下回ったものの、GW及びコロナ5類化により5月は再び増加し、89万人を記録（2019年5月比：81.4%）
- ・ 引き続きインバウンドは増加傾向にあり、来場者数の1割が外国人観光客であった施設もあった。
- ・ 北野エリアについては、GWの中でも特にインフィオラータが開催された5/3は、施設来場者数が多かった。
- ・ 4・5月にかけて、韓国からの観光客が増えた印象を受ける施設が多かった。



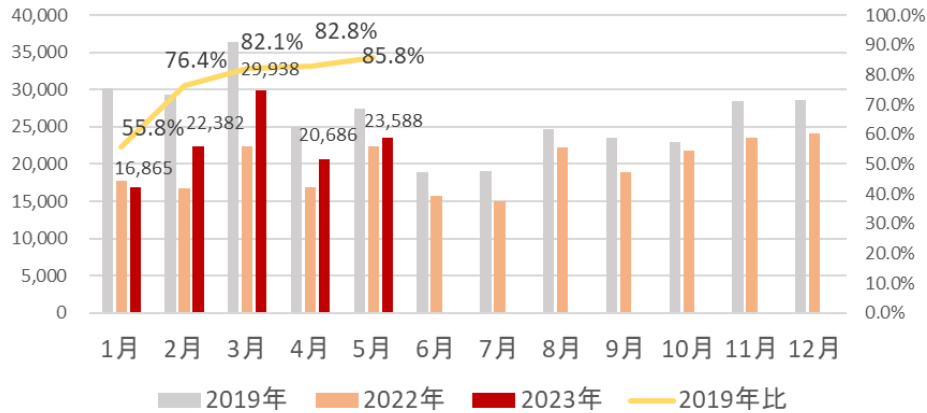
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2022年	323,867	285,141	525,080	530,110	741,675	421,305	411,176	590,543	489,843	616,308	637,940	514,591	6,087,579
2019年同月比 (2022年)	65.7%	59.0%	69.3%	63.0%	67.6%	65.1%	66.5%	68.3%	67.3%	75.9%	74.6%	79.1%	68.8%
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496								
2019年同月比 (2023年)	80.0%	75.8%	84.1%	71.1%	81.4%								

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

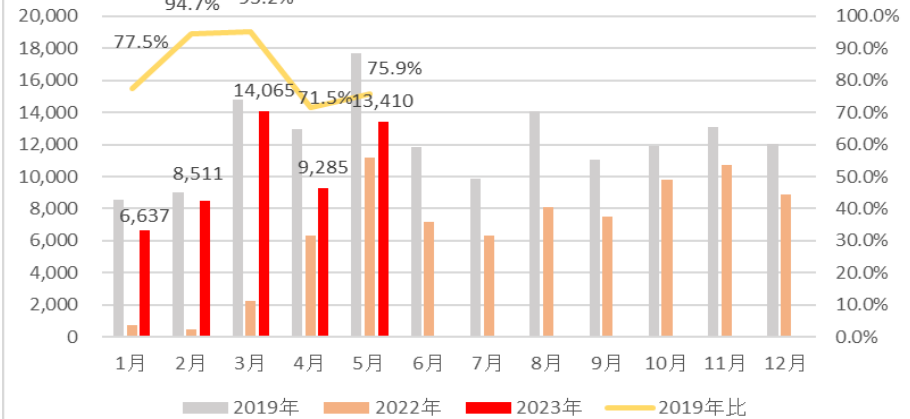
集計対象施設：全21施設(ラインの館、風見鶏の館、王子動物園、神戸市立博物館、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、須磨海浜水族園など)

所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

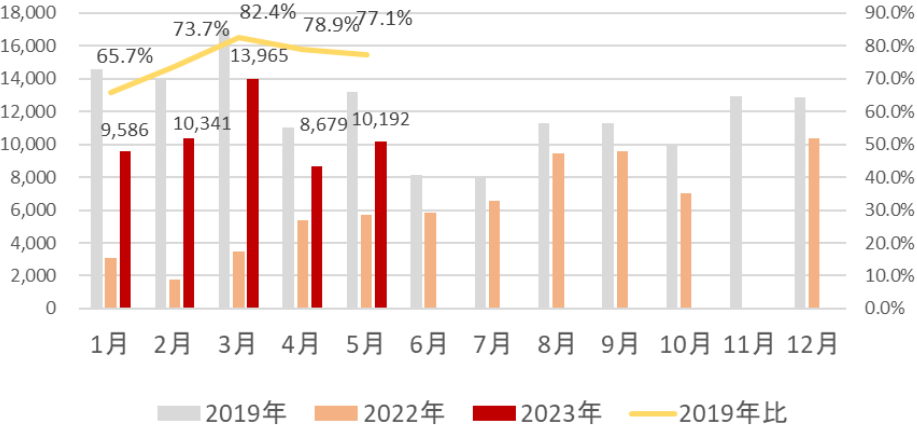
金の湯



萌黄の館



銀の湯



【コメント】

5月の入館者数は13,410人。令和元年度比で75.9%と伸び悩んだ。外国人入館者は増加傾向だが令和元年度比で78.7%であり、国別では台湾からの入館者は戻りつつある。中国については未だ鈍化傾向である。



【コメント】

今年は行動制限のないゴールデンウィークを迎えたが、悪天候の影響で利用者が増えなかった。ゴールデンウィーク後は国内旅行者が少なくなり利用者が減少したが、月末近くになると、中国や台湾からの団体ツアーの利用者が増え始めた。



神戸市内大型施設の主な催事情報(7～8月) 6月22日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



7月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	7月1日～4日 26th ATRS World Conference Kobe, Japan			1～2日 米米CLUB		
2週目	6～8日 第64回日本神経病理学会 総会学術研究会・ 第66回日本神経科学学会 大会合同大会	6～8日 脳内管内ブラッシュ アップセミナー	2日 DORAGONGATE KOBEプロレス フェスティバル2023	7日 ASKA 8日 FANKY MONKEY BABY'S		
3週目	16～17日 第16回日本在宅薬学会学 術大会		8～9日 めいちゃんライブツアー 「どんちゃん騒ぎ」	12日 大阪フィルハー モニー交響楽団 14日 男闘呼組		15～17日 第78回国民スポーツ大会近畿ブロック 大会 (体操・新体操)
4週目	22日 第131回日本結核・非結 核性抗酸菌症学会近畿支 部学会・第101回日本呼 吸器学会近畿地方会合同 開催	22～23日 神戸ハンドメイド マルシェ 2023	15～16日 50th Anniversary 松任谷由実コンサート ツアー「The Journey」	17日 秦 基博 20日 神戸フロイデ 合唱団 22日 よしもとライブ	23日 神戸市室内管弦楽団 ・神戸市混声合唱団 こどもコンサート	27～30日 全農杯2023全日本卓球選手権ホープスバ ンビの部
5週目	29日 日本集中治療医学会第7回 関西支部学術集会			23日 GReeeeN 30日 NEMOPHILA		
8月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	4～8日 CCP2023	1～3日 日本麻酔科学会70回 学術集会	5～6日 LEE JUNHO Arena Tour 2023	5日 それゆけアンパン マン ミュージカル 「まもれ! 黄金の炎」	2日 福田こうへい コンサートツアー 5日 ジャズ&ラテン フェスティバル	5～6日 第34回全日本女子車いすバスケットボ ール選手権大会
2週目			11～12日 浦島坂田船 SUMMER TOUR Plusss			11～13日 国体近畿ブロック大会 (バスケットボ ール)
3週目				17日 リアル恐竜ショー 恐竜パーク 19～20日 郷ひろみ	13～14日 第11回全国小中学生ダンス コンクール西日本大会	16～20日 国体近畿ブロック大会 (ハンドボール)
4週目	8/21～23 第23回模擬工区連会議 関西大会	8/20 NEW ORDER CHOPPER 18th ANNUAL	26～27日 KAZUYOSHI SAITO 30th Anniversary Live 1993-2023	26日 LTL LEAGUE from EXILE TRIBE	23日 水森かおり・市川由紀乃 ジョイントコンサート	21～23日 第71回全日本学生弓道選手権大会 25～27日 国民体育大会近畿ブロック大会 (バレーボール)
5週目					27日 関西学院大学・北海 道大学・同志社大学 男声合唱フェスティバル	28～29日 全日本選手権大会ジュニア県予選会 (卓球)

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

2023年5月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

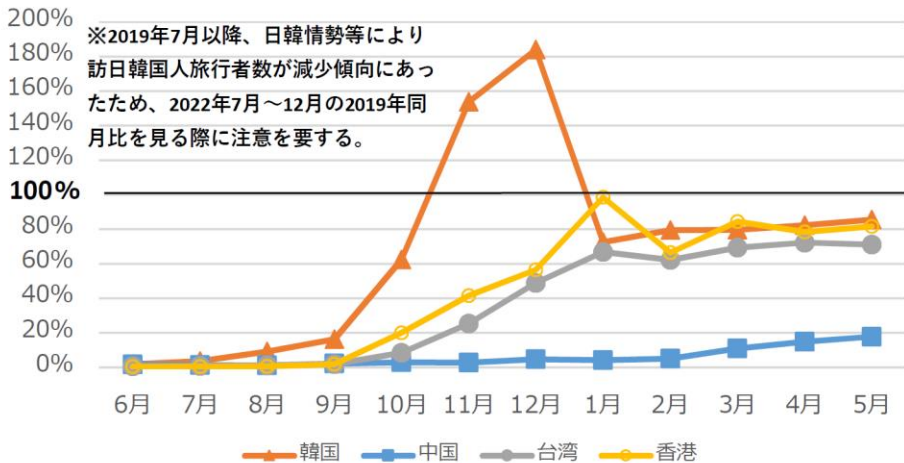
国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 5月	2023年 5月	伸率(%)	2019年 1月～5月	2023年 1月～5月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,773,091	1,898,900	-31.5	13,753,573	8,638,500	-37.2
韓国	South Korea	603,394	515,700	-14.5	3,250,791	2,583,400	-20.5
中国	China	756,365	134,400	-82.2	3,651,814	386,100	-89.4
台湾	Taiwan	426,537	303,300	-28.9	2,019,764	1,381,600	-31.6
香港	Hong Kong	189,007	154,400	-18.3	888,859	723,400	-18.6
タイ	Thailand	107,857	80,700	-25.2	620,611	446,400	-28.1
シンガポール	Singapore	37,650	49,700	32.0	166,819	198,100	18.8
マレーシア	Malaysia	42,629	34,000	-20.2	207,395	172,200	-17.0
インドネシア	Indonesia	30,107	31,100	3.3	166,583	162,400	-2.5
フィリピン	Philippines	59,578	49,900	-16.2	248,278	222,900	-10.2
ベトナム	Vietnam	39,900	45,800	14.8	217,828	262,100	20.3
インド	India	19,914	18,000	-9.6	77,581	65,300	-15.8
豪州	Australia	46,223	40,800	-11.7	289,623	232,300	-19.8
米国	U.S.A.	156,962	183,400	16.8	699,633	745,400	6.5
カナダ	Canada	35,335	42,300	19.7	158,367	153,200	-3.3
メキシコ	Mexico	5,482	8,500	55.1	25,948	28,200	8.7
英国	United Kingdom	31,642	27,700	-12.5	159,897	129,700	-18.9
フランス	France	30,863	26,800	-13.2	138,993	104,400	-24.9
ドイツ	Germany	21,552	23,100	7.2	102,782	93,100	-9.4
イタリア	Italy	12,463	11,800	-5.3	63,411	49,100	-22.6
スペイン	Spain	9,971	8,600	-13.7	41,660	30,900	-25.8
ロシア	Russia	9,691	3,000	-69.0	47,096	13,800	-70.7
北欧地域	Nordic Countries	11,214	8,600	-23.3	59,537	41,700	-30.0
中東地域	Middle East	5,679	8,700	53.2	38,323	42,800	11.7
その他	Others	83,076	88,600	6.6	411,980	370,000	-10.2

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

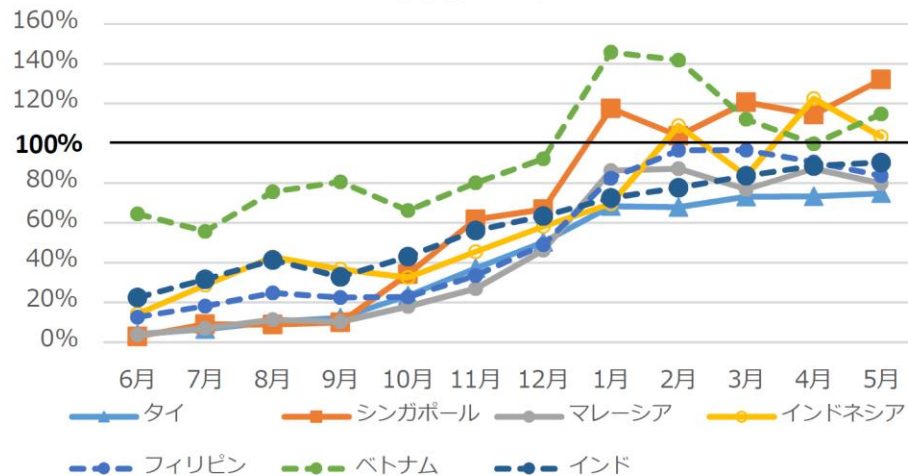
※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

2022年6月～2023年5月訪日外客推移（2019年同月比）

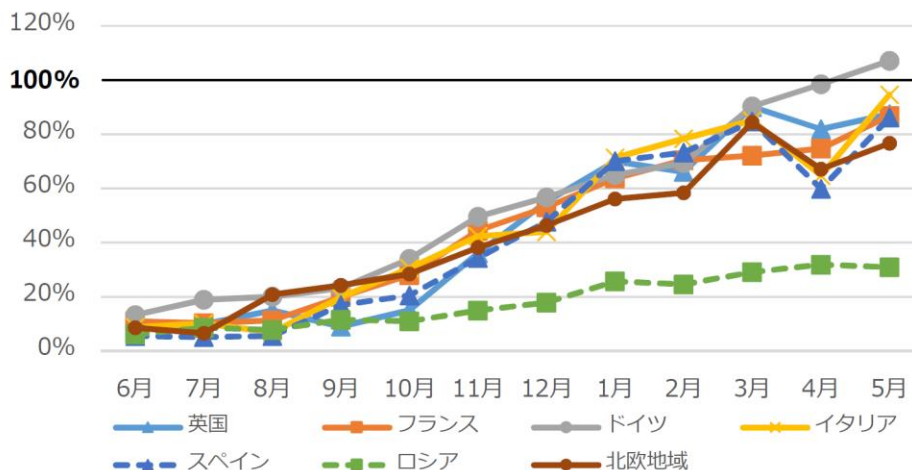
東アジア



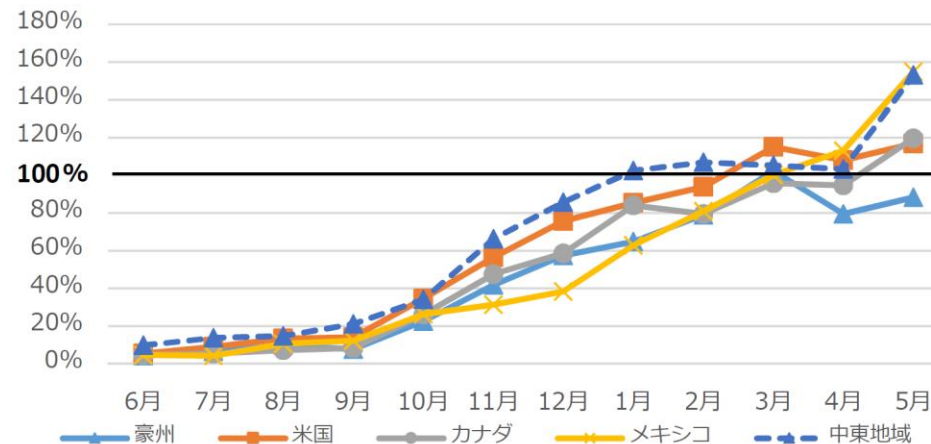
東南アジア



欧州・北欧



北米・豪州・中東

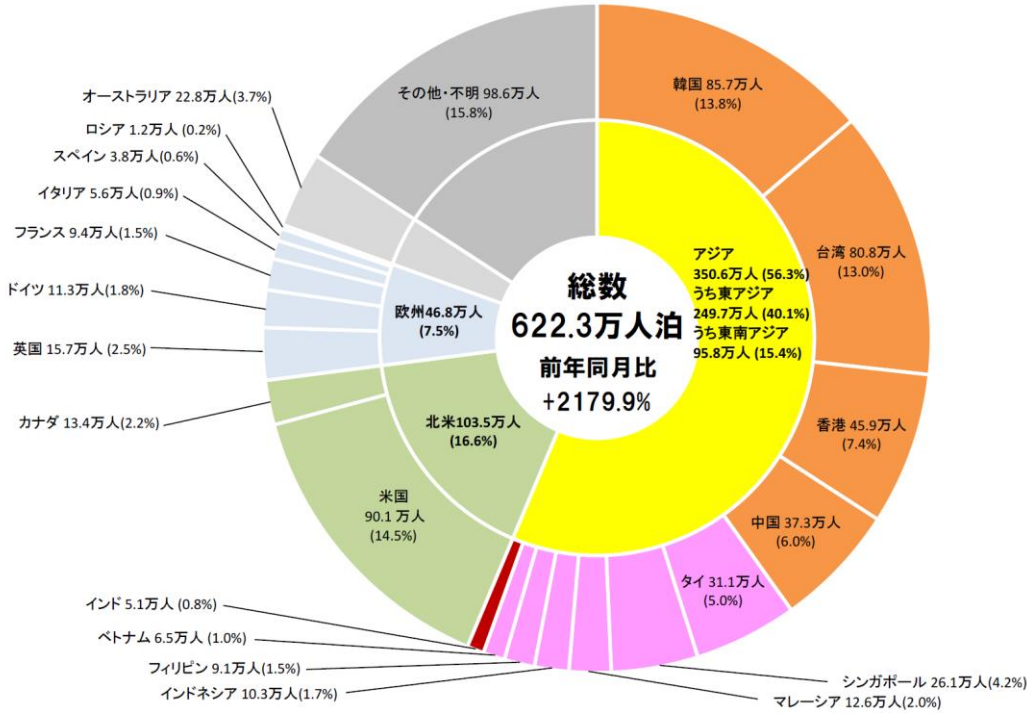


(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.3月）

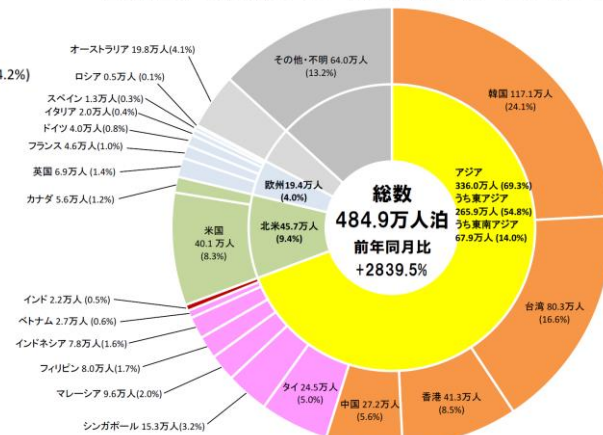
- 令和5年3月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が米国、第2位が韓国、第3位が台湾、第4位が香港、第5位が中国で、上位5ヵ国・地域で全体の54.6%を占める。
- 2019年同月比では1割以上減少している国が多い。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年3月（第2次速報））



順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		（人泊）	シェア		
第1位	米国	901,020	14.5%	+29.1%	+1147.8%
第2位	韓国	857,470	13.8%	-17.1%	+6145.2%
第3位	台湾	807,700	13.0%	-28.0%	+19504.4%
第4位	香港	458,520	7.4%	-11.4%	+18769.1%
第5位	中国	372,890	6.0%	-82.0%	+1077.8%
第6位	タイ	311,120	5.0%	-23.8%	+5619.1%
第7位	シンガポール	261,090	4.2%	+29.6%	+4386.1%
第8位	オーストラリア	227,980	3.7%	+6.4%	+10704.7%
第9位	英国	156,930	2.5%	-4.0%	+3803.7%
第10位	カナダ	133,850	2.2%	+18.3%	+7773.5%
第11位	マレーシア	125,980	2.0%	+1.3%	+8588.3%
第12位	ドイツ	112,700	1.8%	-8.4%	+3030.6%
第13位	インドネシア	103,350	1.7%	-12.7%	+1465.9%
第14位	フランス	93,890	1.5%	-28.2%	+1872.5%
第15位	フィリピン	91,290	1.5%	+4.5%	+280.2%
第16位	ベトナム	65,140	1.0%	-17.0%	+509.9%
第17位	イタリア	55,500	0.9%	-21.2%	+3457.7%
第18位	インド	51,010	0.8%	-18.6%	+1309.1%
第19位	スペイン	37,570	0.6%	-27.5%	+5680.0%
第20位	ロシア	11,880	0.2%	-70.4%	+633.3%
	その他	710,500	11.4%	-5.6%	+1319.3%
	合計	6,222,590	100.0%	-25.8%	+2179.9%

【参考】前月分
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年2月（第2次速報））



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.1～2023.3)



(単位：人泊)

	1月		2月		3月	
	人数	順位	人数	順位	人数	順位
全国	6,058,130		5,929,850		7,547,120	
01北海道	624,680	(3)	654,970	(3)	445,620	(4)
02青森県	10,490	(31)	10,830	(31)	9,800	(38)
03岩手県	12,660	(29)	16,120	(27)	9,650	(39)
04宮城県	23,570	(23)	23,240	(20)	21,680	(26)
05秋田県	7,380	(39)	5,110	(40)	2,530	(47)
06山形県	23,970	(22)	18,460	(23)	12,790	(33)
07福島県	13,800	(28)	19,920	(22)	14,350	(30)
08茨城県	9,720	(33)	8,840	(32)	14,310	(31)
09栃木県	17,980	(26)	20,350	(21)	34,570	(21)
10群馬県	24,360	(21)	15,200	(28)	17,340	(28)
11埼玉県	9,990	(32)	7,940	(36)	11,030	(36)
12千葉県	175,700	(8)	159,620	(8)	185,050	(8)
13東京都	2,205,220	(1)	2,189,530	(1)	3,032,610	(1)
14神奈川県	130,720	(9)	114,020	(9)	204,500	(7)
15新潟県	67,370	(12)	47,680	(15)	24,280	(23)
16富山県	5,100	(40)	4,530	(43)	5,420	(43)
17石川県	33,100	(18)	25,440	(19)	58,020	(17)
18福井県	2,600	(45)	2,570	(45)	3,830	(45)
19山梨県	66,690	(13)	75,260	(12)	86,450	(13)
20長野県	191,720	(7)	178,610	(7)	89,670	(12)
21岐阜県	58,200	(14)	55,520	(13)	54,950	(18)
22静岡県	36,640	(17)	47,650	(16)	73,540	(14)
23愛知県	95,090	(10)	85,410	(10)	132,440	(9)

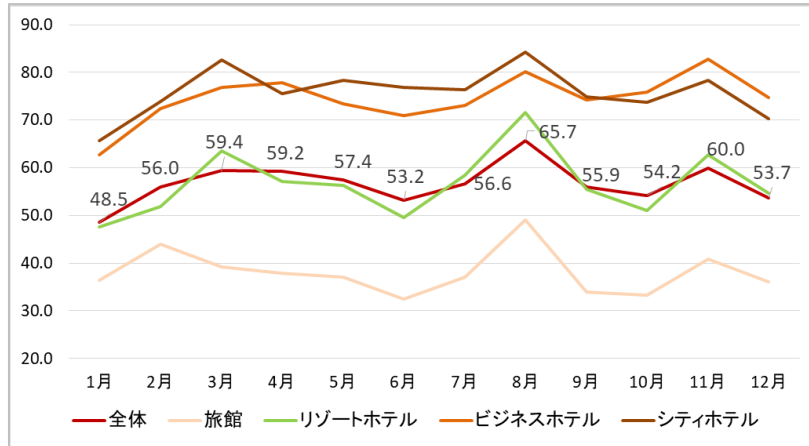
	1月		2月		3月	
	人数	順位	人数	順位	人数	順位
24三重県	8,750	(36)	6,390	(38)	12,700	(34)
25滋賀県	21,120	(24)	16,560	(24)	16,980	(29)
26京都府	444,910	(4)	411,250	(4)	820,640	(3)
27大阪府	846,840	(2)	911,430	(2)	1,074,960	(2)
28兵庫県	57,330	(15)	52,930	(14)	72,010	(15)
29奈良県	9,310	(35)	7,020	(37)	22,200	(24)
30和歌山県	16,130	(27)	14,990	(29)	36,160	(20)
31鳥取県	2,240	(46)	2,470	(46)	3,970	(44)
32島根県	1,680	(47)	1,460	(47)	3,040	(46)
33岡山県	9,460	(34)	8,770	(33)	22,180	(25)
34広島県	32,420	(19)	31,500	(18)	89,700	(11)
35山口県	5,030	(41)	4,920	(41)	9,240	(40)
36徳島県	3,830	(43)	4,310	(44)	12,320	(35)
37香川県	11,060	(30)	11,920	(30)	19,970	(27)
38愛媛県	5,020	(42)	5,800	(39)	13,390	(32)
39高知県	2,930	(44)	4,850	(42)	9,090	(41)
40福岡県	321,510	(5)	290,520	(5)	298,290	(5)
41佐賀県	8,640	(37)	7,970	(34)	9,930	(37)
42長崎県	31,180	(20)	16,190	(25)	36,880	(19)
43熊本県	41,980	(16)	47,320	(17)	61,430	(16)
44大分県	93,310	(11)	78,390	(11)	99,890	(10)
45宮崎県	8,050	(38)	7,970	(34)	8,770	(42)
46鹿児島県	20,080	(25)	16,190	(25)	27,080	(22)
47沖縄県	208,590	(6)	181,890	(6)	221,860	(6)

宿泊タイプ別客室稼働率

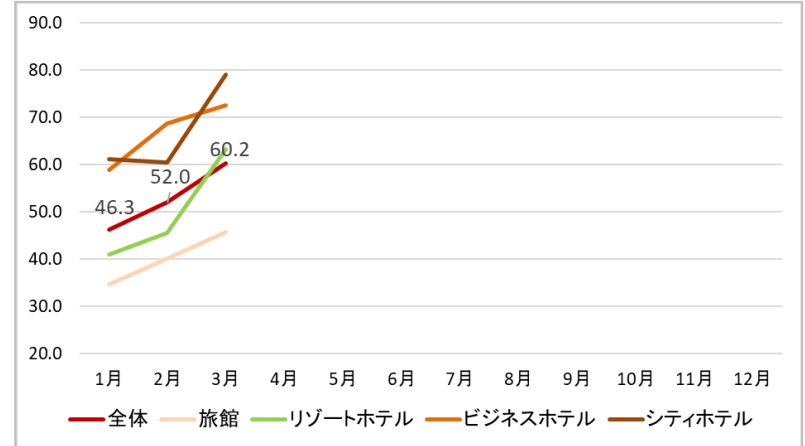
2019年／2023年比較

【兵庫県】

(2019年)

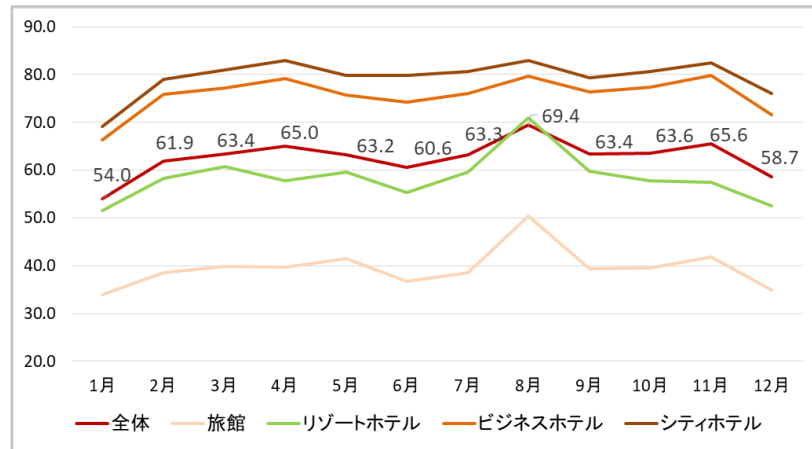


(2023年)

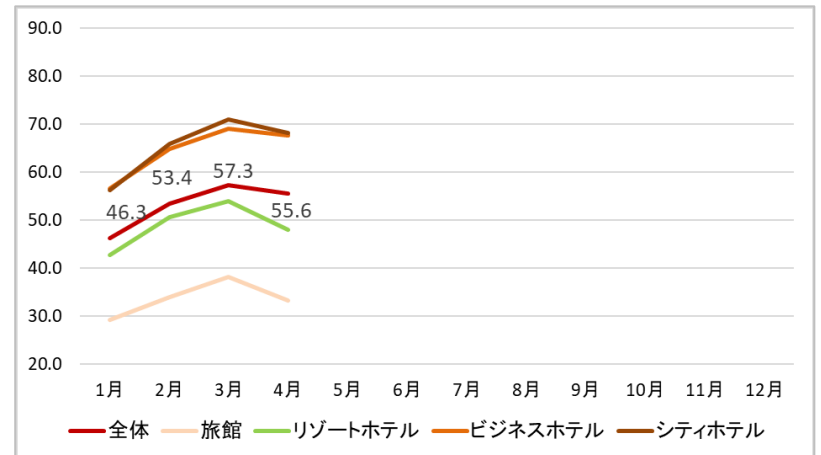


【全国】

(2019年)



(2023年)



世界の運航状況

2019年6月1週目比 2023年6月1週目比

地域	2019年6月1週目比	2023年6月1週目比
世界	-5.2%	0.9%
西欧	-6.0%	1.0%
東欧	-19.6%	0.9%
北米	-1.5%	0.6%
中米	7.5%	0.8%
南米	1.3%	-1.7%
東アジア	-4.7%	1.5%
東南アジア	-19.1%	0.0%
中東	-7.0%	4.8%
太平洋(豪州ほか)	-6.6%	2.7%

世界の座席利用率(2023年4月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	78.4% -3.6p	81.6% 0.4p	日本	70.4% 1.4p
欧州	83.8% -1.4p	83.3% -2.3p	中国	74.4% -10.7p
北米	85.6% 0.8p	83.8% 1.0p	インド	85.6% -1.1p
中南米	81.4% -0.7p	83.1% 0.5p	米国	86.1% 0.3p
中東	76.0% -4.4p	76.2% -4.5p	豪州	76.0% -4.7p
合計	81.3% -1.8p	81.4% -1.3p	合計	88.1% -2.7p

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

<世界の航空業界の状況>

世界の2023年6月の運航総数は、引続き増加傾向。

- ・西ヨーロッパの座席数が大きく増加 (スペイン・トルコ・イタリア・ドイツ・ノルウェーの順)
- ・次いで中東が増加 (サウジアラビアとアラブ首長国連邦)

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年5月～2023年4月) 6月20日時点



関西国際	2022年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月
総旅客数(人)	499,770	524,388	649,909	714,267	648,397	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841	1,651,773
2019年比(%)	-82	-80	-76	-75	-73	-65	-55	-47	-47	-42	-39	-40
国際線 発着数(回)	3,041	3,448	3,591	3,740	3,683	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197	7,496	8,227
2019年比(%)	+178	-74	-74	-73	-71	-66	-57	-55	-55	-48	-44	-38
外国人 旅客数(人)	38,335	38,948	51,778	67,522	70,856	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116	960,417
2019年比(%)	-97	-97	-96	-95	-93	-84	-64	-50	-47	-46	-43	-39
国内線 旅客数(人)	440,515	454,729	546,888	568,852	502,916	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171	524,658
2019年比(%)	-33	-17	-11	-13	-14	+2	-2	+1	-9	+5	+9	-8

神戸	2022年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月
国内線発着 回数(回)	2,665	2,666	3,081	3,109	2,785	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014	2,788
2019年比(%)	+1	+10	+19	+14	±0	+1	±0	±0	+16	+25	+21	+13
国内線 旅客数(人)	206,812	215,697	265,021	299,259	256,541	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365	262,558
2019年比(%)	-25	-18	-6	-9	-14	+1	-4	±0	+2	+7	+10	+4

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年5月～2023年4月)

6月20日時点



路線	内容	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月
新千歳	旅客数(人)	35,410	42,470	49,670	51,263	49,579	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793	37,584
	利用率(%)	58.1	72.0	81.3	83.9	86.0	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5	62.1
青森	旅客数(人)	2,776	2,418	3,052	6,319	3,300	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965	2,654
	利用率(%)	53.4	48.0	58.8	63.8	67.7	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1	52.7
花巻	旅客数(人)	2,197	2,171	2,431	3,508	2,663	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863	2,560
	利用率(%)	42.3	43.1	46.8	67.4	54.7	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1	52.5
仙台	旅客数(人)	12,672	11,581	13,862	17,200	15,202	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112	14,971
	利用率(%)	57.7	55.4	63.2	78.4	73.4	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9	70.5
新潟	旅客数(人)	2,444	2,105	1,841	2,274	1,731	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632	209
	利用率(%)	49.8	46.4	38.4	46.9	38.0	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7	62.2
茨城	旅客数(人)	15,927	14,320	18,199	22,620	17,808	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489	21,642
	利用率(%)	58.1	55.4	55.3	69.8	57.2	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5	67.9
羽田	旅客数(人)	66,227	63,350	69,993	72,557	70,048	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594	70,589
	利用率(%)	74.3	69.9	69.7	81.8	80.5	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6	81.1
松本	旅客数(人)	5,996	6,313	5,821	5,948	5,512	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479	5,912
	利用率(%)	58.2	64.8	56.4	57.1	56.7	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0	58.7
高知	旅客数(人)	2,351	2,065	2,285	2,535	1,831	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190	2,178
	利用率(%)	45.1	41.0	43.9	48.7	38.9	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5	43.9
長崎	旅客数(人)	14,830	13,666	18,637	23,446	18,703	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737	22,612
	利用率(%)	54.5	52.9	56.9	71.6	63.7	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2	71.0
鹿児島	旅客数(人)	6,103	6,593	10,469	15,389	12,226	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665	13,997
	利用率(%)	41.5	43.3	48.1	70.1	62.2	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4	65.9
那覇	旅客数(人)	31,252	37,519	55,216	61,316	47,024	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904	54,825
	利用率(%)	44.9	55.0	64.2	70.4	65.4	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3	72.7
下地島	旅客数(人)	4,370	7,374	8,444	8,679	5,931	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299	7,936
	利用率(%)	39.8	69.4	76.9	79.1	65.7	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7	74.7